



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月28日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 4463 URL <https://www.nicca.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213(代表)
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	35,909	19.2	2,177	162.9	2,399	132.4	2,308	303.5
2020年12月期第3四半期	30,118	△13.1	828	△23.2	1,032	0.5	572	△1.5

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 3,474百万円 (—%) 2020年12月期第3四半期 184百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	146.60	—
2020年12月期第3四半期	36.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第3四半期	52,242	26,242	46.1	1,527.19
2020年12月期	53,175	23,166	39.5	1,335.60

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 24,070百万円 2020年12月期 21,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	4.00	—	6.00	10.00
2021年12月期	—	8.00	—		
2021年12月期（予想）				14.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,500	15.3	2,400	69.4	2,600	58.0	2,350	125.0	149.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	17,710,000株	2020年12月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	1,948,421株	2020年12月期	1,972,260株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	15,746,384株	2020年12月期3Q	15,726,640株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業を中心とした一部の業種で改善が見られたものの、変異株の出現により新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言実施期間が長期間におよび、経済活動が制限される状況が継続しました。また、世界各国の経済は新型コロナウイルスのワクチン接種が進み持ち直しの動きがみられた地域がある一方、コロナ禍が再拡大した地域もあり、国内外ともに依然先行きは不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは、永続的成長に向けて2025年までの全社基本ビジョンを「世界中のお客様から最も信頼されるイノベーション・カンパニー」と掲げ、3つの経営軸（「Innovation」「Efficiency」「Sustainability」）のもと、激変する経営環境をビジネスチャンスへと昇華し、社会からますます必要とされる価値を提供する事業に注力することで、着実に成長を遂げる真に強い企業集団へと生まれ変わるため、新たな5か年中期経営計画『INNOVATION25』（2021-2025）を掲げ、5つの全社基本戦略（「事業構造の大転換」「生産性改革」「財務基盤の強化」「サステナブル経営の推進」「大家族主義の進化」）に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は35,909百万円（前年同期比19.2%増）、営業利益2,177百万円（同162.9%増）、経常利益2,399百万円（同132.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,308百万円（同303.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

（化学品事業）

売上高は25,040百万円（前年同期比19.8%増）、セグメント利益は1,345百万円（同171.6%増）となりました。

コロナ禍の影響が継続しているものの、全般的に流通在庫の積み上げ等による需要回復が見られるとともに、特殊樹脂モノマー、環境衛生関連薬剤やフッ素化成品が堅調に推移しました。また、アジア通貨に対する円安の影響もあり売上高は増加しました。

一方、経済活動の回復、需給バランスの影響により原料価格が大きく上昇しましたが、昨年からの実施している経費抑制の継続、一昨年実施した設備投資の減価償却費減少により、セグメント利益は増加しました。

（化粧品事業）

売上高は10,634百万円（前年同期比19.7%増）、セグメント利益は2,161百万円（同39.4%増）となりました。

当社デミ コスメティクスにおいては、長期にわたる緊急事態宣言による市況悪化の影響を受けたものの、主力ヘアケアブランドの拡販等により堅調に推移いたしました。山田製薬株式会社においては、大口受託案件の受注増に加えて新規顧客の獲得増により好調に推移いたしました。その結果、化粧品セグメント全体では売上高及びセグメント利益ともに増加しました。

（その他事業）

売上高は234百万円（前年同期比29.8%減）、セグメント利益は47百万円（同983.5%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、932百万円減少し52,242百万円となりました。この主な要因は、原材料及び貯蔵品が602百万円増加した一方、現金及び預金が733百万円、受取手形及び売掛金が464百万円及び有形固定資産が442百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、4,009百万円減少し25,999百万円となりました。この主な要因は、借入金が3,922百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、3,076百万円増加し26,242百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が2,087百万円、為替換算調整勘定が785百万円及びその他有価証券評価差額金が109百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、2021年7月29日に公表いたしました業績予想から、現時点で入手可能な情報や予測等を踏まえ修正を行っております。

詳細につきましては、2021年10月28日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,962	7,228
受取手形及び売掛金	9,026	8,561
商品及び製品	4,224	4,376
仕掛品	735	768
原材料及び貯蔵品	3,066	3,669
その他	963	799
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	25,977	25,402
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,607	13,293
機械装置及び運搬具(純額)	4,033	3,554
土地	5,261	5,199
その他(純額)	824	1,237
有形固定資産合計	23,726	23,283
無形固定資産		
その他	304	276
無形固定資産合計	304	276
投資その他の資産		
その他	3,167	3,280
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,166	3,280
固定資産合計	27,197	26,840
資産合計	53,175	52,242

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,325	5,082
短期借入金	8,033	5,815
未払法人税等	357	474
賞与引当金	556	455
その他	3,088	3,160
流動負債合計	17,361	14,988
固定負債		
長期借入金	8,267	6,563
退職給付に係る負債	3,223	3,262
株式報酬引当金	75	103
その他	1,081	1,082
固定負債合計	12,647	11,011
負債合計	30,009	25,999
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898	2,898
資本剰余金	2,928	2,928
利益剰余金	16,909	18,997
自己株式	△1,465	△1,444
株主資本合計	21,271	23,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	365	474
為替換算調整勘定	△308	477
退職給付に係る調整累計額	△309	△261
その他の包括利益累計額合計	△251	690
非支配株主持分	2,146	2,171
純資産合計	23,166	26,242
負債純資産合計	53,175	52,242

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	30,118	35,909
売上原価	20,236	23,786
売上総利益	9,882	12,122
販売費及び一般管理費	9,054	9,945
営業利益	828	2,177
営業外収益		
受取利息	25	25
受取配当金	21	18
持分法による投資利益	19	10
為替差益	-	116
雇用調整助成金	151	-
その他	194	199
営業外収益合計	413	370
営業外費用		
支払利息	52	34
為替差損	12	-
売上割引	58	58
その他	86	55
営業外費用合計	209	148
経常利益	1,032	2,399
特別利益		
固定資産売却益	4	599
投資有価証券売却益	10	116
補助金収入	33	-
特別利益合計	48	716
特別損失		
固定資産除却損	16	1
固定資産売却損	0	4
投資有価証券評価損	1	2
特別損失合計	18	8
税金等調整前四半期純利益	1,062	3,106
法人税等	409	684
四半期純利益	652	2,422
非支配株主に帰属する四半期純利益	80	114
親会社株主に帰属する四半期純利益	572	2,308

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	652	2,422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	109
為替換算調整勘定	△485	894
退職給付に係る調整額	59	47
その他の包括利益合計	△467	1,051
四半期包括利益	184	3,474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187	3,251
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	223

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（追加情報）

（会計上の見積り）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,898	8,886	29,784	334	30,118
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	19	19	104	124
計	20,898	8,905	29,804	438	30,242
セグメント利益	495	1,550	2,046	4	2,050

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,046
「その他」の区分の利益	4
セグメント間取引消去	40
全社費用（注）	△1,263
四半期連結損益計算書の営業利益	828

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,040	10,634	35,674	234	35,909
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	30	30	188	219
計	25,040	10,665	35,705	423	36,129
セグメント利益	1,345	2,161	3,506	47	3,554

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	3,506
「その他」の区分の利益	47
セグメント間取引消去	△22
全社費用（注）	△1,354
四半期連結損益計算書の営業利益	2,177

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。